(様式例)

令和5年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

<第2学年>

- ・データの活用領域では、目標値を大きく上回った。日常生活を題材とした授業を行ったことで、理解しやすく基礎が定着したと考えられる。またデータの比較結果を文章で表したことで、記述分野の昨年度のポイントをやや上回った。

<第3学年>

- ・各領域の正答率において、全4領域で目標値を大きく上回った。習熟度別に合わせたプリントを用いて授業を行い、反復練習を重点的に行った結果すべての領域で基礎基本が定着したと考えられる。

(2) 課題

<第2学年>

- ・「思考・判断・表現の観点」、「活用」、「関数領域」の問題の正答率が他の観点を正答率と比べて低い傾向がある。

<第3学年>

- ・「思考・判断・表現の観点」、「活用」、「図形領域」の問題の正答率が他の観点を正答率と比べて低い傾向がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	全国の標準スコアをやや上回っている。		
第2学年	全国の標準スコアをやや上回っている。昨年度と変化なし。	全国の標準スコアをやや上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	全国の標準スコアをやや上回っている。昨年度よりも標準スコアが下がっている。	全国の標準スコアを上回っている。昨年度よりも標準スコアが上がっている。 (第2学年時)	全国の標準スコアを上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を大きく上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
少人数指導を活かし、教室の習熟に合った小テストを行うことで、基本的な知識・技能の定着を図る。また、ICTソフトを用いて、反復練習を行う。	問題文の意図をよみとる力を高めるために、授業内で文章を読んだり、生徒の考えを互いに聞いたりする機会を増やす。	単元毎に日常生活を題材とした問題をプリントを利用するなどして扱い、問題解決に取り組む活動を行う。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元毎に小テストを行うことで、基本的な知識・技能の定着を図る。また、具体物や実物教材、ICT機器などを用いて、理解を深める工夫に取り組む。	関数領域の問題が苦手な生徒が多い。反復練習や式・グラフ・表との関連付けを行う。	単元毎に日常生活を題材とした問題を扱い、問題解決に取り組む。単元毎に既習事項や問題の解答解説を自らつくるレポートを活用する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業の導入で反復練習を行い、定期的に小テストを行うことで基本的な知識・技能の定着を図る。また、具体物や実物教材、ICT機器等を用いて、理解を深める工夫に取り組む。	図形の証明問題が苦手な生徒が多い。ICT機器やワークシートを効果的に用いて、論理的に考え表現できる力の育成に努める。	単元毎に日常生活を題材とした問題を扱い、問題解決に取り組む。単元ごとに振り返りシートを活用し、日常生活の中で数学が活用できる場面について考えさせ、意見を共有し深い学びにつなげていく。